

日本青年会議所 水産部会



私たちはJC運動を
応援しています。

水産部会のあゆみ

1966年	横浜	設立総会
1975年	台湾	10周年記念事業
1977年	東京	【講演】安倍晋太郎農水大臣
1979年	東京	【講演】荒勝敏氏(元水産庁長官)
1980年	串木野	【パネルディスカッション】
	長崎	金子原二郎部会長(参議院議員、元長崎県知事)
		『長崎県の漁業について』
1981年	東京	【講演】中井昭氏(水産庁長官)
		『食糧安全保障と水産業』
	鹿児島	【講演】牛尾治朗氏
		『明日の日本を考える一行政改革』
1982年	東京	【講演】松浦昭氏(水産庁長官)
		『日本の水産業の現状と将来』
1984年	八戸	OB会設立
1984年	東京	【講演】安倍晋太郎外務大臣
		【講演】佐野宏哉氏(水産庁長官)
1985年	神戸	【講演】江戸家猫八氏
		『うそと誠』
		20周年
1990年	横浜	【講演】輪島功一氏(元プロボクシングミドル級チャンピオン)
		『腕一本で未来を開く』
	静岡	25周年
1995年	大阪	30周年
1996年	仙台	【講演】大田章氏(早稲田大学助教授)
		『ネバーギブアップ』
1999年	小倉	シニア会設立総会
2004年	長崎	【講演】山本昭夫氏(料亭一カ社長)
		【講演】古野清賢氏
2005年	札幌	【講演】新党大地代表鈴木宗男氏
		『水産国日本と近隣諸国のありかた』
2011年	横浜	【講演】カルロスゴーン氏
2014年	東京	【講演】八木信行氏(東京大学大学院准教授)
		『TPPと水産業のゆくえ』
2015年	神戸	50周年
		【講演】木村清氏(すしざんまい代表)
2016年	台湾	海外事業 高雄 ASPACブース出展
2017年	ベトナム	海外事業 水産流通市場 視察
2018年	インドネシア	海外事業 魚加工業者訪問並びに工業視察
2019年	シンガポール	海外事業 商談、食の勉強会
2020年		コロナウイルス感染拡大防止のため活動を自粛
2021年		Zoomにて各部会開催
2022年	日光	【講演】大嶋康平氏
		『森は海の恋人～山林の本質を学ぶ～』
2023年	浜田	山陰浜田部会開催
2024年	福岡	全日本部会開催

※上記は活動の一部です。

入会の申込・問い合わせ

入会、または詳しいご説明をご希望される方は下記の方法でお問い合わせください。

入会希望者で“入会申込書”をお持ちの方

下記へ **ご郵送** で申込書をお送りください。

〒286-0102 千葉県成田市天神峰80-1
有限会社 成田ヤマニ 内
日本青年会議所 水産部会事務局 林 匠 宛

お問い合わせ

TEL 080-3919-6159 (担当:道場)
メール dojoerika@gmail.com

入会金
年会費

入会には入会金及び年会費が必要となります

入会金 10,000 円 年会費 20,000 円
(JC現役会員)

JC卒業してからの入会: 35,000 円/年会費 なし
※毎年一口3,000円の通信協力を募らせて頂いております。

■ ごあいさつ ■



第60代部会長

林 匠

2025年度スローガン

家族愛

～新たな船出の時！さあともに行こう！
この大海原へ！～

日本青年会議所水産部会は、漁業、流通業、水産加工業、小売業などの関連業に携わるJCメンバーが、自由な社会と経済発展を実現し、新しい水産業界を牽引するにふさわしい人材育成を目的として、1965年9月24日に誕生しました。先輩諸兄姉の熱き想いが今も紡がれ運動を展開しております。

かつては、世界を牽引するほどの成長産業であった日本の漁業生産量は、1984年をピークに38年間で約半分となる一方で、世界の漁業生産量は約2倍となりました。その原因は、海洋環境の変動の影響に伴う水産資源の減少、燃料費などコストの高騰、少子高齢化による後継者不足と漁業就業者数の減少・高齢化と数々の大きな問題によるものです。人々の当たり前の日常が当たり前では無くなり、社会のなかでの価値観が大きく変化するなかで、日本の大切な産業である水産業の未来を創造するためにも、今まさに大きな社会の変化で対応するべく変革を推し進めていく重要な局面であります。

しかし、変革には、忘れてはいけないこと、変わってはいけないことがあります。それは、人と人の繋がりを大切にすることです。水産部会では、自分事のように直向きになって、とことんまで仲間に寄り添うことのできる同志だけでなく、何時でも我々に背中を見せ続けて来られた先輩諸兄姉がいます。人と人の繋がりが希薄化していくなかで、水産部会の繋がりは必ずや日本の水産業の力の源になると考えています。なぜなら、その根底にあるのは、自分事のように共感でき、信頼し合える仲間と共に知恵をもちより、助け合うことができるからであり、それは、未来に向けて変革をもたらす勇気ある一歩が踏み出すことのできる原動力になるからです。

水産を愛し水産の未来と真剣に向き合う多くの仲間と出会い、共に時間を共有し共に学ぶことで私がつま人生観を大きく昇華させていただきました。共に力を合わせ、輝ける水産業界の未来を描くことができる一人でも多くの仲間と巡り合えることを心よりご期待申し上げます。

2024年12月末 現在

事業計画

1月	1月部会・通常総会(京都)
3月	3月部会(アメリカ・ボストン)
5月	5月部会(千葉・浦安)
7月	7月部会 サマーコンファレンス出展
9月	9月部会 60周年記念式典
11月	11月部会(神奈川・小田原) 臨時総会・卒業式
未定	農林水産大臣表敬訪問

部会員数

全 体	445人
現 役	21人
シニア	424人

What's Fisheries Division

水産部会とは

◆ 毎年1月には京都にて総会が開催され、全国のメンバーが一堂に会をする重要な全国交流の場となっています。当部会は、現役会員数約30名の精鋭と約400名のシニア会員で構成する歴史ある青年団体で、JC運動の基本である、地域づくり、人づくりにつながる「業界づくり」を目指し、各人の所属する業界における連携や協力体制、勉強会や国内外の視察などの事業を活発に行っています。

Our Activity

活動

- ◆ 年6回の部会を全国各地で開催します。またサマーコンファレンスでは部会主体のブースを設けイベントを行います。
- ◆ 部会では、水産にまつわる講師をお呼びして講演会を開いたり、部会メンバー・シニア自らの成功体験などを講演したりしております。また、毎年部会長のテーマにより、オリジナルな事業を行っており、農林水産省に提言書を手渡しする部会長も多くおります。
- ◆ 関係省庁、関係団体、プレスと連携を図り、水産業界に問題を提起、働きかけを行っております。
- ◆ JCを卒業された方は、シニアとして水産部会をサポートしていただいております。現在シニア数400ほどが全国にいらっしゃいます。
- ◆ 水産部会メンバーならびにシニアが共有するLINE、メーリングリストで日々の連絡等を取っております。
- ◆ 資格 海・魚・マリンスポーツ等、その他とにかく水産に興味あるJCメンバーならどなたでも入会OK！(シニアの方も特別会員として加入いただけます)

Our Power

パワー

◆ (公社)日本青年会議所の分化団体となっており、現在41の業種別部会があります。水産部会内部のみならず、他の業種別部会の方々との交流があります。業種別部会に参加される方は、そもそもマンパワーにあふれている方々ですので、仕事仲間としても優れている方が多いです。

水産部会の活動



京都会議
定期総会

講演会開催



国内視察



海外視察
共同ブース出展



レクリエーション



活動の詳細はホームページでもご確認ください。